

陸貨災防宮支部第 20 号

平成 26 年 9 月 12 日

会 員 各 位 殿

陸運労災防止協会宮城県支部

支部長 秋 田 進

(支部長印省略)

労働災害のない職場づくりについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当支部活動に格別のご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、陸運業における平成 26 年 7 月末現在の労働災害は、死亡 4 名で、これは前年に対し 4 名の増、死傷者数は 175 名で前年に対し 39 名の増、率にすると 28.7% の増と他産業が減少している中で陸運業だけが増加している状況にあります。

事故の死傷者数を型別に見ると、「墜落・転落」が最も多く全体の 29%、次に「転倒」が 16%、合わせて 45% と半数近くを占めております。

特に荷役作業時については

- 1、 積卸し作業の安全確認
- 2、 昇降設備、作業場所の安全確認
- 3、 保護具等の着実な使用

等を実行し、労働災害のない明るい職場の構築をお願い致します。

先般、宮城労働局長より「労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請について」の文書が発信されました。

会員各位におかれましては、これまで以上の安全対策を実施いただき「労働災害ゼロ」に向け取り組んでいただくようお願いいたします。

記

1、 添付資料

- A) 労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請について
(宮労基発第 0826-5 号、平成 26 年 8 月 26 日)
- B) 宮城労働局の労働災害発生状況 (1 月～7 月)
- C) 緊急警報 トラック運転者の荷役災害が急増中 (パンフ)

以上

